



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年1月13日 第50号

発行者：校長 伊藤 俊

新年全校集会 一賞状伝達式 校長講話一



2017年 1月全校集会挨拶

校長 伊藤 俊

2017年、酉年がスタートしました。今日は、相手にマイナスの印象を与える言葉について、話したいと思います。

3D言葉を耳にした人もあると思います。「だって」「でも」「どうせ」など、あたまたにDがつく言葉です。このような言葉は多用しないほうがいいよ、とアドバイスを受れたり、相手にマイナスの印象を与える、ということ聞いたことがあると思います。

12月に、私用である旅館に泊まった時です。翌日の出発が早いので、「支払いは今晚のうちにお願いできますか」とお願いしてみました。旅館の方から「でも、今日は担当がいないので無理です」と言われました。結果的に、翌日朝一番で対応してもらい、問題はなかったのですが、何となくもやもやした気持ちになりました。それ以外のサービスが良かっただけに残念でした。

よくよく考えると、「でも」という、相手の意見を遮るような言葉を使わないで、「今晚は無理ですが、明日の朝一番でできます」と、前向きに答えてくれれば、何の問題もなかったのかと思います。頭にDが付く言葉とはまさにこのことでした。

学校に遅刻した時、「だって、道路が混んでバスが来なかったから」と答えていませんか。周囲には、言い訳に聞こえてしまいます。自分は悪くないことを正当化しようという風に聞こえます。こんな時は素直に「すみませんでした。道路が混んでいました」。「だって」を付けずに、これで十分済みます。

もっとも最悪なのは「どうせ」だと思います。「これ気を付けてね」と言われて、「どうせ私が悪いんでしょう」。非を認めています、自分は納得していません。これを言えば良いんでしょう。非常に投げやりな感じで、受けとるほうはイライラしてしまいます。私自身も妻に指摘されると、「どうせ」を付けてしまうことがあります。

このようなマイナスの印象を相手に与えてしまう言葉を多用すると、この人は誘わない方がいいね、話しかけたくないね、関わりたくないね、ということになってしまい、友達も離れてしまうことになると思います。自分からバリアを張り、知らず知らずに人を遠ざけてしまうこととなります。

「だって」「でも」「どうせ」等の頭にDが付く言葉はできるだけ口にしないだけで、周囲からの印象や評価も変わってくるのではないのでしょうか。

皆さんも是非心掛けてみてください。私も今年は特に、これらの言葉は使わないようにしてゆきたいと思います。今年もみんな、さらに良い西高を創ってゆきましょう。

受験シーズン到来 一大学入試センター試験一

明日14日(土)、15日(日)石巻専修大学を会場にセンター試験に約80名の三年生諸君が挑みます。正月3日(火)、4日(水)に同じ会場でプレ試験を経験していますが天気が心配です。当日は時間に余裕をもって臨んでください。

「受験は団体戦」です。進路がすでに決まった三年生はもちろん、学年が違う後輩の二年生や一年生も関係がないわけではなく、学校全体で、授業をはじめ、校内を「真剣に学ぶ環境にする」ことが大切です。部活動も受験も団体戦「チーム西高」で戦いましょう。

皆さんには無限の可能性が 있습니다。最後の最後まで粘り強く、頑張れ西高生！